

平成28年度 委託研究開発成果報告書

I. 基本情報

- 事業名： (日本語) 脳科学研究戦略推進プログラム
(英語) Strategic Research Program for Brain Sciences
- 研究開発課題名： (日本語) 霊長類モデル動物の創出・普及体制の整備
(英語) Maintenance of Systems for Creation and Spread of Primate Model Animals
- 研究開発担当者 (日本語) 公益財団法人実験動物中央研究所、マーモセット研究部、
部長・応用発生学研究センター センター長(兼任)、
佐々木えりか
- 所属 役職 氏名： (英語) Erika Sasaki, Director, Applied Developmental Biology
Center/ Marmoset Research Department, Central Institute
for Experimental Animals
- 実施期間： 平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日
- 分担研究 (日本語) 遺伝子改変マーモセットの効率的生産に向けた生殖工学技術
の整備・開発
- 開発課題名： (英語) Preparation and development of reproductive engineering
technologies for effective production of genetically
modified marmosets
- 研究開発分担者 (日本語) 国立大学法人広島大学自然科学研究支援開発センター、
教授、外丸祐介
- 所属 役職 氏名： (英語) Yusuke Sotomaru, Professor, Natural Science Center for
Basic Research and Development, Hiroshima University

II. 成果の概要（総括研究報告）

研究開発代表者：公益財団法人実験動物中央研究所、マーモセット研究部、部長・応用発生学研究センター センター長(兼任)、佐々木えりか
総括研究報告を参照。

III. 成果の外部への発表

（1）学会誌・雑誌等における論文一覧（国内誌 0 件、国際誌 0 件）

該当無し

（2）学会・シンポジウム等における口頭・ポスター発表

1. 霊長類における遺伝的相同個体の作製技術について、口頭発表、外丸祐介，第 63 回日本実験動物学会総会（ミニシンポジウム 5），2016/5/20，国内.
2. 霊長類における受精卵と精子の凍結保存，口頭およびポスター発表，外丸祐介，信清麻子，吉岡みゆき，畠山照彦，印藤頼子，兼子明久，岡本宗裕，今井啓雄，平井啓久，Cryopreservation Conference 2016，2016/11/10-11，国内.
3. 様々な核の組合せにより作製したマーモセット 4 倍体胚の発生能について，ポスター発表，外丸祐介，信清麻子，吉岡みゆき，畠山照彦，黒滝陽子，平川玲子，佐々木えりか，第 6 回日本マーモセット研究会大会，2016/12/12，国内.
4. Techniques for creating genetically identical animals in the non-human primates，口頭発表，Sotomaru Y，2017 Asia-Oceania Regional Meeting for Marmoset Research，2016/ 3/16，国外.

（3）「国民との科学・技術対話社会」に対する取り組み

該当無し

（4）特許出願

該当無し